

平成30年度 県政モニターアンケート調査結果

テーマ：県の広報活動について

福岡県総務部県民情報広報課

1 調査の目的

県では、さまざまな広報媒体（福岡県だより、グラフふくおか、県ホームページなど）を使って、県民の皆さまに県政に関する情報を提供し、県政に対する理解を深めるとともに、開かれた県政を推進しています。

県政にかかる情報の入手方法や、充実を望む広報媒体について、県民の皆さまのニーズを把握し、今後の広報活動の参考にさせていただくため、県の広報の現状について調査を行いました。

2 活用状況

県民の皆さまのニーズを把握することにより、県の主要施策に係る広報について、より効果的なアプローチと内容の充実を図ることに活用します。

3 調査時期

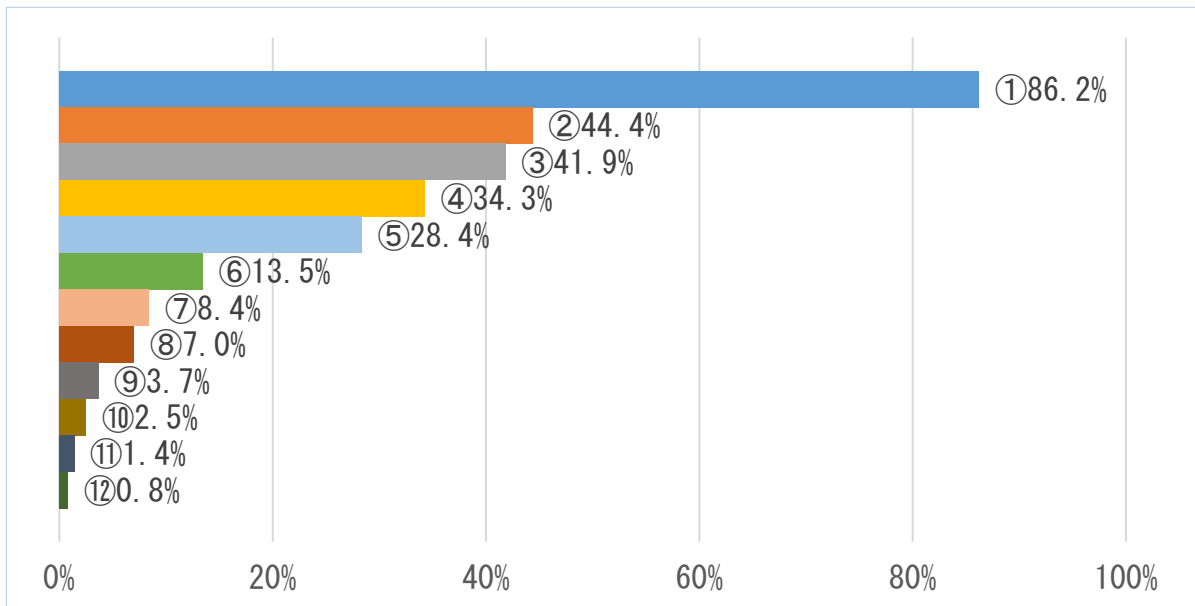
平成 30 年 9 月 19 日～9 月 30 日（第 3 回）

4 回答者の構成

		計	北九州	福岡	筑後	筑豊
総数	-	356 (100%)	86 (24.2%)	190 (53.4%)	47 (13.2%)	33 (9.3%)
性別	女性	205 (57.6%)	50	107	26	22
	男性	151 (42.4%)	36	83	21	11
年代別	20 代以下	48 (13.5%)	12	29	2	5
	30 代	89 (25.0%)	15	50	16	8
	40 代	83 (23.3%)	21	44	10	8
	50 代	62 (17.4%)	18	30	9	5
	60 代	47 (13.2%)	13	24	6	4
	70 代以上	27 (7.6%)	7	13	4	3

5 回答結果

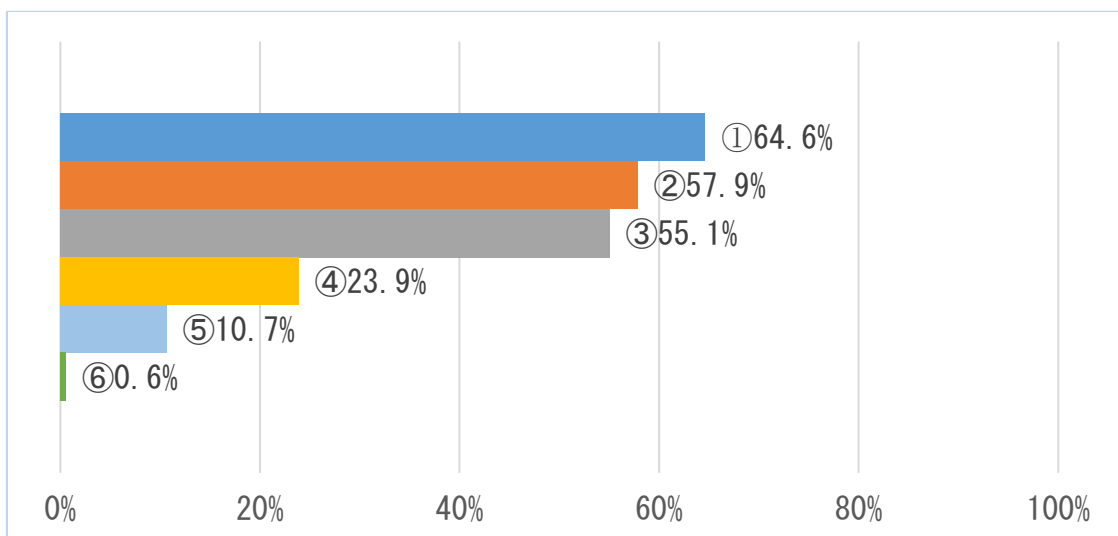
問1 県の広報媒体について、あなたが、県政モニターに応募される以前から知っていた、または見たことがあるものについて、該当するものを【全て】選んでください。



(n=356 複数回答可 回答件数=970)

①	広報紙「福岡県だより」	86.2%	(307 名)
②	議会広報紙「ふくおか県議会だより」	44.4%	(158 名)
③	県ホームページ	41.9%	(149 名)
④	グラフ誌「グラフふくおか」	34.3%	(122 名)
⑤	新聞広告「福岡県からのお知らせ」	28.4%	(101 名)
⑥	県政広報テレビ番組「飛び出せ！サークル“ふくおか研”」、「福岡県庁知らせた課」	13.5%	(48 名)
⑦	県政広報ラジオ番組「FM福岡『福岡県だより』」	8.4%	(30 名)
⑧	知らなかった、または、見たことがなかった	7.0%	(25 名)
⑨	福岡県庁公式 Twitter (ツイッター)	3.7%	(13 名)
⑩	福岡県庁公式 LINE@ (ラインアット)	2.5%	(9 名)
⑪	インターネット動画配信「ふくおかインターネットテレビ」(YouTube と Facebook で配信しているものを含む)	1.4%	(5 名)
⑫	その他 (次の設問で具体的に入力してください)	0.8%	(3 名)
	無回答	0.0%	(0 名)

問2 あなたは、普段どのような手段で情報を入手していますか。(県政に関する情報に限らず、一般的によく利用する情報収集手段についてご回答ください) ※2つまで選択



(n=356 2つまで選択 回答件数=757)

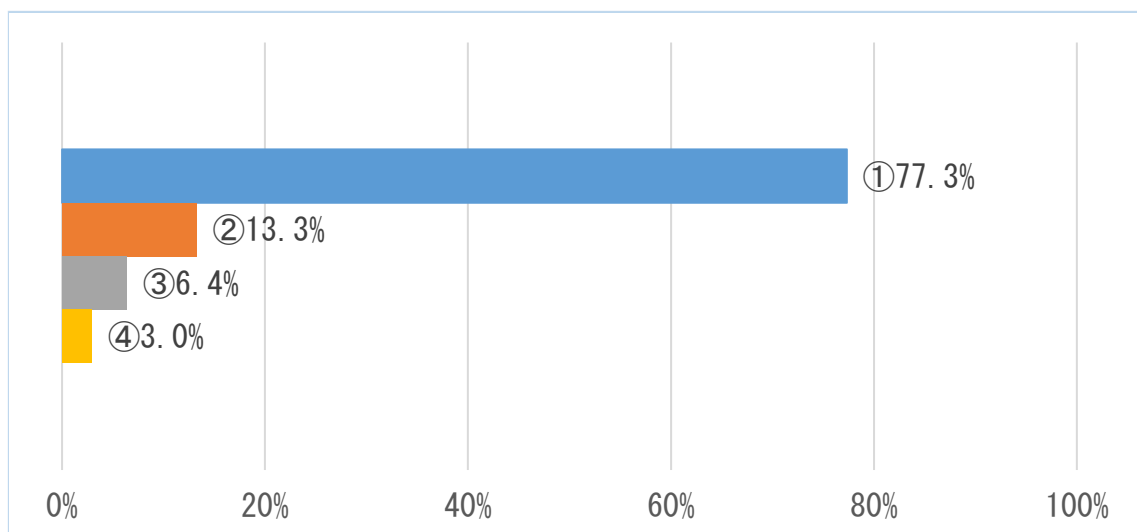
① インターネット検索サイトによる検索	64.6%	(230 名)
② 紙媒体（新聞、雑誌など）	57.9%	(206 名)
③ テレビ	55.1%	(196 名)
④ SNS（Twitter、LINE など）	23.9%	(85 名)
⑤ ラジオ	10.7%	(38 名)
⑥ その他（次の設問で具体的に記入してください）	0.6%	(2 名)
無回答	0.0%	(0 名)

問2-2 問2で「⑥その他」を選択した方の内容（抜粋）

- ・「リアル社会」上。つまり、街に出て見聞きするさまざまな情報
- ・区役所に行った際、いろいろと見て回る

問3 あなたが、最も利用する媒体について、回答してください。

※問2で「①紙媒体(新聞、雑誌など)」を選択した方・1つだけ選択。



(n=206 1つだけ選択 回答件数=203)

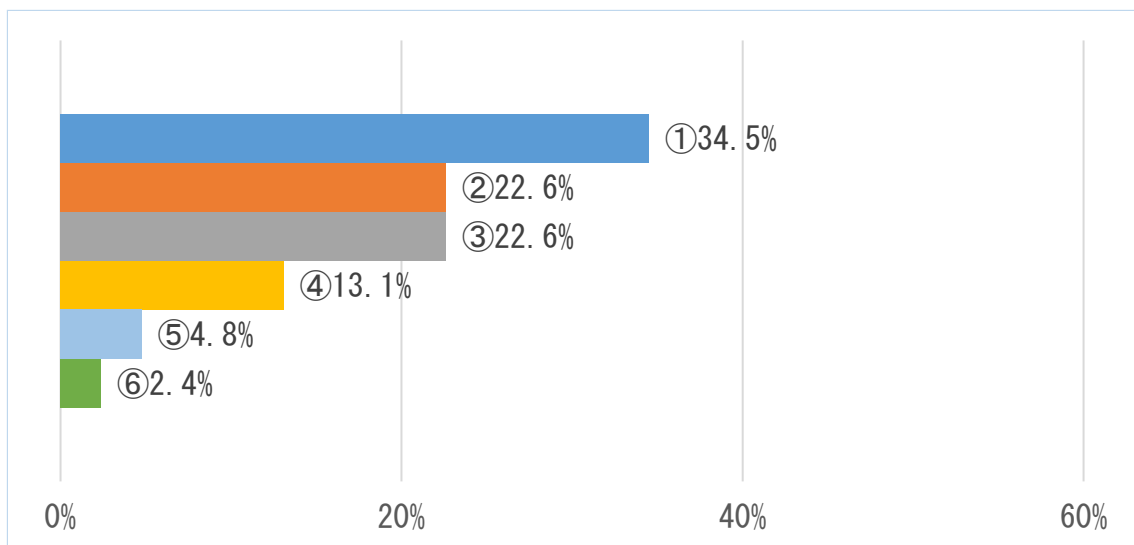
① 新聞	77.3%	(157 名)
② 雑誌	13.3%	(27 名)
③ その他(次の設問で具体的に入力してください)	6.4%	(13 名)
④ 書籍	3.0%	(6 名)
無回答	0.1%	(3 名)

問3-2 問3で「③その他」を選択した方の内容(抜粋)

- ・ 回覧板や広報紙
- ・ 情報コーナーなどで設置してあるチラシ
- ・ 区役所で自由に取れるものやポスターなどを見る
- ・ 県だよりなどポストに投函されるもの。新聞の購読は低下傾向にあり、インターネットのみでは利用者に偏りがある。全年齢、全方向性に情報を発信することを考慮すると紙媒体かと思う。インターネットは県外海外向けを意識し、紙媒体によりインターネットでカバーできない詳細部分を作り込むのはどうか
- ・ ネット新聞
- ・ 県、市の広報紙、地域の情報誌
- ・ フリーペーパー。特に子連れの情報詳しく書いてある「リトルママ」や、子どもプラザに設置してあるチラシは頻繁に見る
- ・ フリーペーパー「ぼど」

問4 あなたが、最も利用する媒体について、回答してください。

※問2で「⑤SNS（Twitter、LINEなど）」を選択した方・1つだけ選択



(n=85 1つだけ選択 回答件数=84)

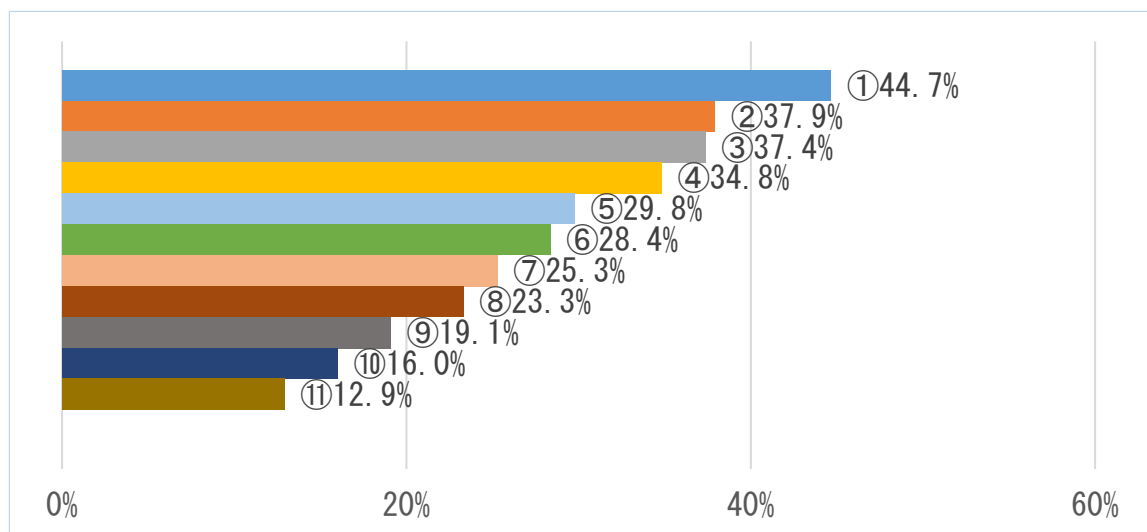
① LINE (ライン)	34.5%	(29 名)
② Instagram(インスタグラム)	22.6%	(19 名)
③ Twitter (ツイッター)	22.6%	(19 名)
④ Facebook(フェイスブック)	13.1%	(11 名)
⑤ Youtube(ユーチューブ)	4.8%	(4 名)
⑥ その他 (次の設問で具体的に入力してください)	2.4%	(2 名)

無回答 0.1% (1 名)

問4-2 問4で「⑥その他」を選択した方の内容 (抜粋)

- ・ お店での広告やその他見聞きする情報
- ・ 鉄道・バスなどの公共交通機関、その他公共機関内で見聞きする情報
- ・ 催し物で見聞きする情報、県が情報発信しているお知らせなど
- ・ ヤフーニュース
- ・ アメーバブログ

問5 県では、さまざまな取り組みや県民サービスを行っています。あなたが、県政モニターに応募される以前から知っていた、または、聞いたことがある県の施策について、次の中から【全て】選んでください。

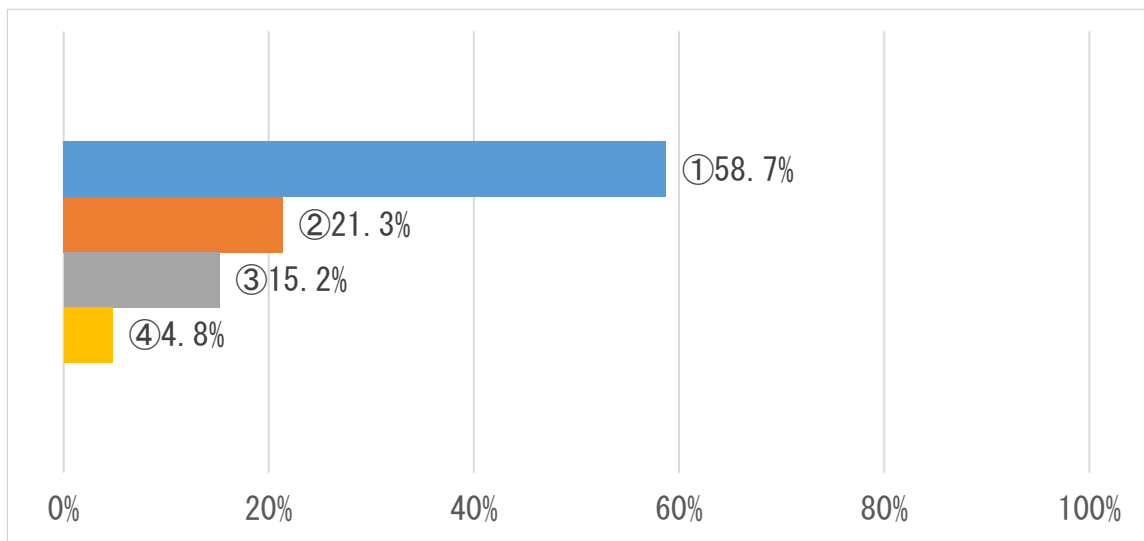


(n=356 複数回答可 回答件数=1102)

① 子育て支援(子育て応援宣言企業登録制度、ふくおか「あかい糸メール」など)	44.7%	(159 名)
② 教育・青少年育成(トップアスリート育成強化事業、青少年アンビシャス運動など)	37.9%	(135 名)
③ 女性の活躍(子育て女性就職支援センター、ふくおか女性いきいき塾など)	37.4%	(133 名)
④ 防災・防犯(防災メールまもるくん、自主防災組織の育成、消防団の加入促進など)	34.8%	(124 名)
⑤ 文化・国際交流(ふくおか県民文化祭、キャンプ地の誘致(ラグビーワールドカップ 2019、2020 年東京オリンピック・パラリンピック)など)	29.8%	(106 名)
⑥ 産業・雇用(水素戦略、グリーンアジア国際戦略総合特区、県産農林水産物のブランド化、若者しごとサポートセンターなど)	28.4%	(101 名)
⑦ 生きがいづくり(高齢者・障がい者)(70歳現役応援センターの活動、「まごころ製品」の販売促進など)	25.3%	(90 名)
⑧ 医療・健康(がん相談支援センター、福岡県健康ポータルサイトなど)	23.3%	(83 名)
⑨ NPO・地域コミュニティ(ふくおか共助社会づくり、見守りネットふくおかなど)	19.1%	(68 名)
⑩ 知らなかった、または聞いたことがなかった	16.0%	(57 名)
⑪ エネルギー・環境(再生可能エネルギーの導入促進、ふくおか省エネ・節電県民運動など)	12.9%	(46 名)
⑫ その他(次の設問で具体的に記入してください)	0.0%	(0 名)

無回答 0.0% (0 名)

問6 県ホームページで、あなたが知りたい情報はスムーズに見つかりますか。※1つだけ選択。



(n=356 1つだけ選択 回答件数=356)

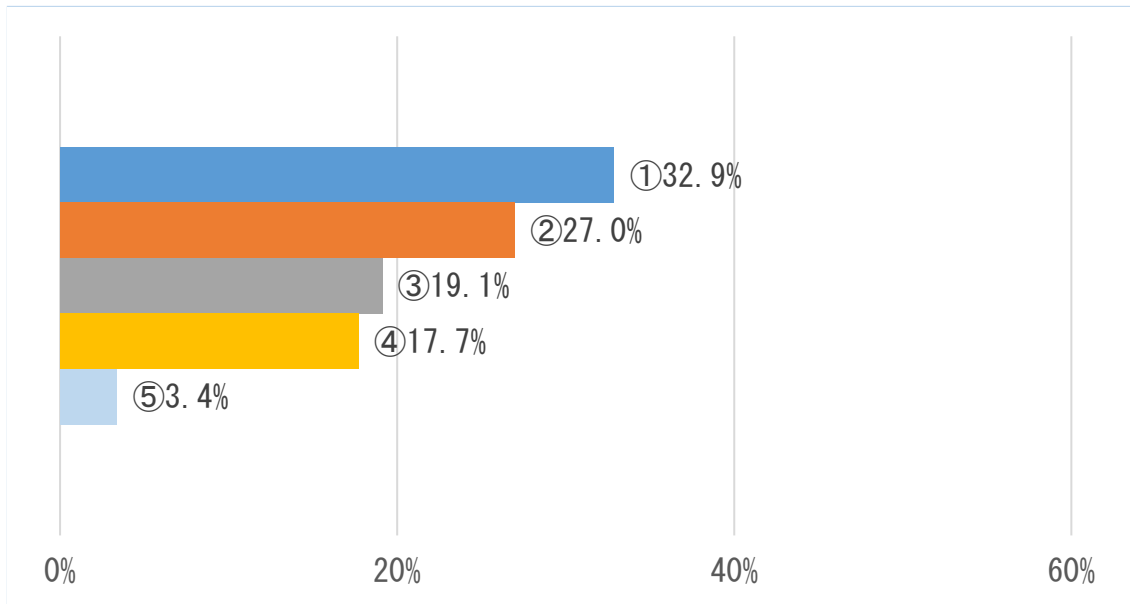
① 見つけることはできるが、見つけるのが困難なときがある	58.7%	(209名)
② 県ホームページを見たことがない	21.3%	(76名)
③ スムーズに見つけることができる	15.2%	(54名)
④ 見つけることができなかつたときがある	4.8%	(17名)

無回答 0.0% (0名)

問6-2 問6で「④見つけることができなかつたときがある」を選択した方で、見つからなかつた情報についての内容(抜粋)

- ・ 地図
- ・ 障がい福祉の制度について、過去の情報が出てきて、最新の情報にたどり着けなかつたことがある
はっきりと記憶していないが、補助金の関係だつたと思う
- ・ 養豚に関する県の計画
- ・ 人権課題についての取り組み
- ・ 県や市が実施している、無料セミナーや体験などの情報
- ・ 夏休みの子どもを対象にした講座。夏休み前は探せず、今年はないのかと思つたが、8月に検索すると見ることができた

問7 県ホームページや県公式 SNS（Twitter、LINE@など）について、工夫や対応、改善が必要だと思う点がありますか。※1つだけ選択。



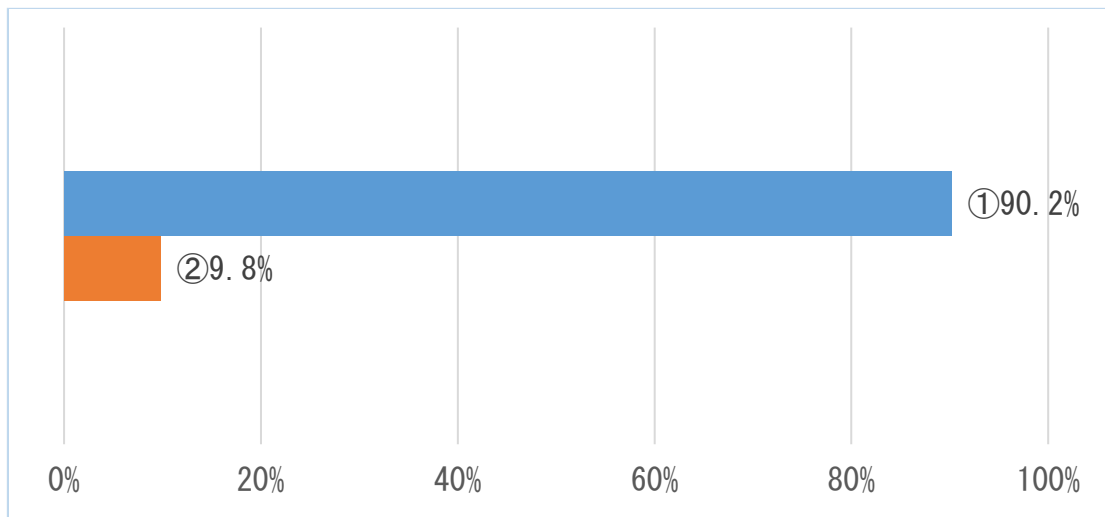
(n=356 1つだけ選択 回答件数=356)

① 特にない	32.9%	(117名)
② 検索機能	27.0%	(96名)
③ 高齢者・障がい者への配慮	19.1%	(68名)
④ デザイン・レイアウト	17.7%	(63名)
⑤ その他（次の設問で具体的に記入してください）	3.4%	(12名)
無回答	0.0%	(0名)

問7-2 問7で「⑤その他」を選択した方の内容（抜粋）

- ・他の Twitter やラインの公式アカウントでは、クーポンがもらえるものがあると、県も何か特典を付けると、利用しようという気になる
- ・県がやっている施策は、堅いイメージなので、例えば若い人でも興味を持てるような内容や、得する情報があるとうれしいし、閲覧する人も増えそう
- ・ホームページでは工夫などが必要だと思う点は特にない。県公式の SNS は利用していないので分からないが、何か得するようなことがあったら、アピールしてほしい
- ・福岡市内の飲食店などと提携して、県が飲食店の宣伝を無料とする代わりに、県の Twitter や LINE@ の画面を飲食店に提示すると割引があるとか、そのようなことを行えばお互い得するのではないかと
- ・福岡市が、LINE でお友達になるとスタンプを無料でダウンロードできるようなキャンペーンをしている。そのような特典を付けると LINE でお友達になる人が増えるのではないかと
- ・内容が役に立つ、便利であるなど、メリットがないと意味がない。福岡市のラインは暮らしに直結し使いやすい
- ・今見たら堅過ぎて高齢者しか使わない気がした。かつ、細かすぎて高齢者も使えない気がした。もっと最初に人が見たくなるようにアプローチしたらいいと思う。一つ一つの項目はためになる所も多かった。粕屋町のホームページの方がよっぽどよく使っている。県のイベントや観光などの情報は、「このページが一番情報が載っている」とか何か売りが無いといけないと思う。そのようなページを通して他のところも見て使うのではないかと

問8 県の広報活動について、これまでの設問以外に意見がありますか。※1つだけ選択。



(n=356 1つだけ選択 回答件数=356)

① 特にない	90.2%	(321名)
② ある (次の設問で具体的に <input type="text"/>)	9.8%	(35名)
無回答	0.0%	(0名)

問8-2 問8で「②ある」を選択した方の内容 (抜粋)

【広報活動全般について】

- ・福岡市の情報に偏らないようにしてほしい
- ・これだけ世の中に発信する方法があるので、どんどん発信すべき
- ・多くの広報活動をされているが、年度ごとに広報媒体や情報に優先順位を付けて重点的に取り組みをしてはどうか
- ・若い人たちにもっと行政のサービスを知ってもらうためのイベント活動をして、それを拡散してもらえりような参加型の広報活動が必要だと思う
- ・多くの県民に知ってもらうためにはさまざまな媒体、メディアを複合的に使うしかないと思うが、そもそも政策自体が分かりやすく、県民のためになるものでなければ、いくら広報活動しても誰も興味を示さない。本当に興味があることは口コミで十分広がる
- ・福岡県は、地方都市の中でも注目の資源、特産、地形を持っている。しかし、福岡県=福岡市のイメージがある。県庁の中でも各地域の特産や観光をアピールしているが、心に響かないのは、言葉ではないかと感じた。耳に届く媒体が欠けている。例えば、各地域にはそれぞれ特徴のある方言があり、同じ福岡県でもびっくりするものがある。方言によるアピールをもっと力を入れて宣伝したらどうか
- ・文章ばかりで分かりづらい点がある。シンプルな文章、図など用いて、読まなくても、一目で見て分かるものを要望する。なかなか文章をじっくり読んで理解する時間を取れない
- ・県民に伝わるのが一番大事なので、より分かりやすく伝わるように、時代に沿った工夫をする必要があると思う

【広報紙・グラフ誌について】

- ・福岡県だよりは、市町村広報紙などと比較すると左右開きが逆で、読みにくいので改善してほしい。
- ・予算の問題もあると思うが、「福岡県だより」はあと1ページ増やしてもいいと思う。情報は文字が小さくてもいいので詰め込めるだけ詰め込んでほしい。必要だと感じればきちんと読む人は読むので。
- ・福岡県だよりは、福岡市政だよりに比べ相当情報量が少ない。情報が多ければ良いとは思わないが、周知

したい情報についてはもっと活用すればいいのではないか

- ・ グラフ誌については、モニターになってからその存在を知った。駅などに設置するなどして、もっとグラフ誌自体の広報が行われるといいと思った

【ホームページについて】

- ・ 行政のホームページは福岡県に限らず、検索したい内容がなかなか出てこないことがよくある。また、文字が並んでいるばかりで、見つらかったりする。商業施設のホームページのように、もっと工夫していただきたい
- ・ ごちゃごちゃ情報が多過ぎて見にくい。分かりやすいホームページが助かる
- ・ もっと広報媒体を上手に活用し、市民の満足度を高めてほしい。ホームページも難しい情報ばかりで面白くない。もっと他のホームページや冊子などを見て工夫してほしい
- ・ まず、福岡県のホームページにアクセスするので、ホームページを充実し、検索しやすくしてほしいと思う。ホームページを見れば、大体のことは分かる。それでも分からなければ電話で問い合わせる、という使い方が最も多いのではないか

【SNS について】

- ・ 若い人は、県だよりなどなかなか見ない。Instagram などの SNS や、インフルエンサーを交えながら広報することも大事だと思う
- ・ 紙媒体だけで済む時代は終わったと思うので、老若男女に分かりやすい広報活動が必要だと思う。SNS を駆使して、福岡県をもっと広められたらいいのと思う

【広報テレビ番組について】

- ・ TV の広報番組は面白いので、今後も続けていってほしい